

令和7年度実施分 協働事業・助成事業 事業成果報告会 評価コメント

NO	事業名	団 体 名	事業担当課	評価コメント
1	【ステップアップ助成】 幸谷関さんの森昔の くらし館設置及び冊 子発行事業	関さんの森エコミュ ニウム		●昔のくらし館は、エコミュニウムの中核施設にあたり、その質を高める取組の努力に敬意を表します。併せて、「関さんの蔵通信」を素材にして幸谷村の歴史を俯瞰する冊子編成にも敬意を表します。関さんの蔵通信100号誌の表紙に表した「関さんの森エコミュニウム20年後の姿」を多くの市民や関係者と共有し、その実現に取り組まれることを期待します。 ●「関さんの森古文書の会」が2008年から取り組まれてきた地道な活動をまとめられ、市民に冊子として公開されたことに敬意を表します。3,500件余りの古文書を整理する活動は根気のいる地道な作業だったことと思います。豊かな森と共に幸谷村の歴史や住民の暮らしを知ることは、現代に生きる私たちにとって役立つこと、地域への愛着を深めることにつながると思います。 ●非常に丁寧に本が編集されており、私自身すぐに読んでみたいと感じた。発表を伺って、今後の展開として何かしらのコラボレーションが期待できるように思いました。 ●計画の冊子に加え概要版のパンフも冊数や頁数を増やした判断も的確で、地域を学ぶ資料として優れていると感じました。 ●成果、助成金の使い道がわかりやすくよかったです。又、活動に多くの方の参加協力があり、巻き込む力もとても良いです。イベント当日はお天気にも恵まれ関心を持つ多くの方々に参加して頂き、素敵な取り組みと思います。 ●成果の道のりやゴールまでが丁寧に整理され、また成果物が手元に届き、素晴らしいチームワークだと感じた。また、活動されているみなさん、参加者含めて関わっている皆さんがとにかく楽しそうに活動されている様子が印象的でした。開館記念イベントが200名の来場のところ予想を上回る来場者だったとのこと。「歴史好き」は松戸市内にも多いのでは？と感じるので、ぜひそういった他の地域で活動する歴史好きの皆さんの活動モデルになると感じた。 ●持続できるよう考えながら実施されている素晴らしい取り組みだと感じました。有償での配布という意見はよいアイデアだと思います。これからも助成金なども活用しながら無理なく持続できる取組になるようがんばってください。 ●江戸時代から続く蔵や門を保存しながら、生活用品や古文書を市民に公開する「昔のくらし館」を開館されたことは、地域の歴史を将来に残すうえで意義のある取組だと感じました。地域との連携をさらに深め、活動が広がることを期待します。

NO	事業名	団 体 名	事業担当課	評価コメント
2	【ステップアップ助成】 四世代のきずなで、 豊かな生活環境を実現する事業	小金原みんなでわく わくする会		●活動のSWOT分析結果を踏まえて、取組テーマを決めてきたやり方は、ほかの地域活動でも倣って欲しい方法です。来年度はSWOT分析して活動を始めた5年目にあたり、その間の蓄積や地域の変化を踏まえてもう一度SWOT分析してみるのはどうでしょう。その場合、ほかの地域へも声掛けしてみると、活動の活性化につながるかもしれません。 ●強み、弱みを洗い出すSWOT分析から始まった活動ですが、団体にとっても新鮮な気持ちでわくわくしながら取り組まれてきたことを感じました。どうしても例年通り、前年踏襲型になりがちなところを、テーマもSDGsと新しく、コンポスト、花植え活動を世代を越えた住民と実施されたこと、今後も仲間を増やし、子どもたちともわくわく継続されることに期待いたします。 ●丁寧に活動を展開されている印象を受けました。今後の展開として、点から面へ、今まで関わってこなかった人々（学生や若い世代）を巻き込む方策を期待いたします。SWOT分析を行い、客観的に自分たちの活動を分析した上で、活動を行ったことは他の市民活動にはあまり無い展開であったと考えます。 ●地域の公園を地域の多世代の住民が直接に整えていくことを高く評価。市から花苗の提供が活動を下支えしている。柔軟にもう1回、開催を増やすことができるのも民間主体だからこそ。 ●参加者が多く広がっているところがとても良いと思います。人とのつながりを大切にしながら、活動が継続されることを期待します。 ●地域で4世代のつながりを意識して活動してくださる方が10名もいるということは心強いし、取り組み事例が他の地域に波及していくと良いと感じました。四世代わくわくBBQ大会が雨のため中止とのこと。防災などの観点からも、もし皆さんで何かあったときに集まる場が公園などの広場の場合、雨天時でも活動が出来るような場所があると良いのかも？と思いました。また、BBQだと準備なども大変かもしれませんので、焼き場だけ準備して「もちより型」BBQなどにするのも良さそうです。皆さんの熱意が必ず小金原全体の活性化につながると願っています。 ●個人的には4世代交流会が特に素晴らしいと感じています。4世代と明確に提示することで参加者への意識付けにもなり、より目的にかなう内容だったのではないかと思います。具体的な内容までお伺いできなかったのですが、世代間の交流が生まれるような仕組みなども工夫するとよりよいイベントになるのではないかと思います。 ●公園の落ち葉を堆肥として活用して花壇づくりにつなげる取組は、環境面での効果だけでなく、住民の皆さんと一緒に活動するきっかけにもなっていると感じました。子どもや若い世代も企画段階から関わられる仕組みが進むと、さらに活動の広がりが生まれると思います。

NO	事業名	団 体 名	事業担当課	評価コメント
3	【協働事業】 まつど de SDGs の 輪を広げようプロジェ クト事業	まつど地域活躍塾つ ながりの会	政策推進課 SDGs 担当室	●市民の関心を引き寄せ、行動を促す働きかけを複数の方法で試行錯誤を繰り返してきた協働事業の3年間であったと振り返ります。そのことは、言い換えれば団体にとっても担当課にとっても、SDGsを市民の当たり前にしていく挑戦だったと認識します。担当課には、その経験を活かしたSDGs浸透の継続的な施策展開を期待いたします。団体には、協働事業後の活動として体験型や対話型を重視した取組を継続する旨、期待いたします。 ●SDGsの輪を広げる活動の目的は、理解したうえで自分ごととしてどう生活する場面で実践できるかに尽きると思います。毎日の暮らし、生活に落とし込み、行動変容につなげるか、成果が見えにくいことではあるが重要なポイントだと思います。また、SDGsには人権、教育などの分野も含まれ、市全体の業務に関わることであり、市担当課の幅広い働きかけを期待します。 ●協働事業3年目ということで、活動の集大成的な活動であると感じた。SDGsフェスティバルの集客については、キャッチコピーを工夫することで、さらに活動の活性化が期待できると考えます。 ●SDGsは特に未来の子どもたちにどんな社会を渡していくのか重要なテーマだと思う。生活実感を通じた学びもとても大切。 ●参加者を増やしていけると良いと思います。ワクワクするタイトルの話もありましたが、イメージしやすい具体的な内容で広報できると関心を持つ方が増えると思いました。 ●松戸市内のSDGsへの取り組みは「やっています」だけではなく、いろいろな市民活動の皆さんのより深い取り組みが連携していて、そこに松戸市も協働している事例自体かなり価値があるのでは？と感じます。質疑の中で、行政側から「つながりの会との連携事業が終了してしまうのはもったいないので、今後は大学生との連携や、行政側としても「予算の中で取り組みを続けて行きたい」とのこと。行政の担当者の方がこの協働にやりがいを感じたのでは？と受け取りました。どうしても「SDGs」というとまじめな印象を与えがちです。映画上映会のような取り組みを通して皆さんがいろいろな立場で循環することに意識を向けて欲しいと感じました。また、松戸市は分別が多く面倒⇒言い換えると循環する街となるのでは？と思うので行政としてそこをうまくアピールしてもらえたらと思います。 ●SDGs フェスティバルはよい取り組みだと感じました。資料をみるととても楽しそうな内容なのですが、参加者数が目標に届かなかったのは残念です。実際のイベントの内容や楽しさが告知時に伝えきれていなかったのかもしれない。SDGs とは直接的には関係がないものでも、子どもたちが興味を持ちそうなわかりやすいきっかけを作ってもよいのかも、と思いました。松戸市に拠点を置くおもちゃ会社さんもあるので、そういったところでの連携もできるかもしれないと思いました。 ●食品ロス、映画、アート、クイズ、対話など、SDGsを市民が身近に考えられる入口を複数用意されたことが印象的でした。協働事業としての区切りを迎える中で、今回生まれたつながりや対話の場を、今後の松戸市におけるSDGs推進の財産として活かしていただくことを期待します。

NO	事業名	団 体 名	事業担当課	評価コメント
4	【スタート助成】 手作りおもちゃカフェ 事業	子育て+プラスゆとり にっこり		●2本の事業は、いずれも計画以上の事業量となり、きちんと結果につなげたことは素晴らしいです。手づくり×遊びの形態は、創作と表現の要素をもつ取組で、参加者の好評を得て狙いどおりの成果になっていると評価します。その取組は、心身の健康や孤独・孤立の予防に効果があると注目されている文化的処方に通じるものがあります。 ●提案された事業が計画通りに目標を達成したことは、今後の団体活動にとっても自信になったのではないかと思います。手仕事のプログラムは高齢者や子どもたちはもちろん、課題を抱える方たちにとってもコミュニケーションツールとして役に立つのではないかと思います。今後は、他の団体と協働した場づくりに期待いたします。 ●誰かと一緒にであると楽しい活動(手作りおもちゃ)ということで、元々の趣旨に非常に合った活動であったと感じた。大変手厚いスタッフ数と子どもたちで、参加した方の満足度も高いのではないかと推察した。 ●子どもがものづくりを通して得られる能力は身体に限らず精神的にも生きていく上で必要性、重要性がある。自分で作ったものは遊んだり飾ったり長く励みにもなると思う。ただ、そうした場を設けるには提供する大人の側の根気を要する。継続的活動を期待します。 ●世代間交流としても子どもの体験としても効果のある活動と思います。 ●いろいろなお祭りやイベントで積極的に参加され、運営側も参加者側も楽しそうな印象があります。助成継続はされないようですが、ぜひこのまま活動を続けていただきたいと思いました。精神疾患等のある若いお子さんの日中デイサービスでは「絵を描く」「字を書く」「工作」などのコンテンツはあるが、ものづくりの講師を探しているとの声を聞きます。もし、可能であれば活動先に加えていただくのがよいのではないかと思います。小さなお子さんでも安心して取り組めるものは、ハンデがある方にとっても取り組みやすいと思います。また、せっかくホームページがありますのでSNSなどでホームページのリンクも拡散してどんどん活動をアピールしたら一緒に活動したい方がもっと増えるのでは？と思いました。 ●おもちゃカフェの実施回数も多く、参加者ひとりひとりをしっかりとサポートする運営で素晴らしい取り組みだと感じました。継続して実施できる仕組みも出来てきているのかなと想像しています。ウェブサイトにもイベントの様子が掲載されていて、初めて参加を検討している方にもわかりやすく安心できる情報発信になっていると思います。実績豊富なため、掲載量も多くなっている分、サイトを開くのに時間がかかっているようなので、そのあたりは少し整理した方がよいかもしれません。 ●高齢者の方がこれまで培ってきた手芸や工作の技術を生かし、子どもたちと一緒に制作する取組は、それぞれの世代にとって楽しみや活躍の場になっていると感じました。地域の中で自然に多世代が交流できる場として、活動を広げていくことを期待しています。

NO	事業名	団 体 名	事業担当課	評価コメント
5	【スタート助成】 子育て中の方が手芸を楽しむ事業	Handicraft circle bijou ハンディクラフトサークルビジュール		●創作と表現の要素を持つ事業で、事後アンケート結果から文化的処方(心身の健康促進や孤独・孤立の予防を促す)の効果が認められる事業だと思います。一回当たりの参加人数とリピート率が高いことが、互いの顔が見える関係を醸し出し、参加者の拠り所になっていると思います。 ●乳幼児を持つママたちの手芸を楽しむ場、ほっとする場づくりへのニーズは多くあるのではないかと思います。さらに継続した活動にして、リピーター、仲間づくり、担い手になっていただく方も増えるのではないのでしょうか。 ●不登校のお子さん・保護者の方からのお問い合わせから、「子育て支援から、子ども本人への支援について考えた」ということが素晴らしいと思った。行きたいという気持ちはあるが、直前で行けないという特性もあるが、双方にとって価値があると思うので、可能であればその子どもたちも一緒にできる活動を展開していただけたらと考えた。 ●参加者がお互いに自分らしい立ち位置で参加、交流している様子が伝わり、それは核となる活動があり、少人数の場であるからだと感じました。 ●孤育では地域の課題として取り組む必要があると考えます。市や団体と情報交換を行いながら続けてほしいと思います。 ●子育て中の孤独感、孤立には「ものづくり」を通して、達成感が自己肯定感を上げることを私自身も感じます。運営の皆さんも子育て中の方が中心だと思うので、手探りで試行錯誤しながらも運営の皆さんがその場を楽しめている様子が伝わってきました。また、活動してみたことで学校に足が向かないお子さんにとっても居場所になりうるのでは？という気づきがあったとのこと、これは新しいニーズだと思います。また、活動場所が固定ではないので、出来れば固定にした方が「時間が空いたからのぞいてみようか な」という子育て中や学校に足が向かないおこさんや親子にニーズが合うのでは？と思いました。皆さんの中で自治会や町会等の貸出し(出来れば無料で)が確保出来たらいいな、と思いました。改めて、まつど市民活動サポートセンター経由で活動を受け入れしてくれる場所の相談をされても良いかも知れません。 ●取り組み自体は回を重ねて継続実施する仕組みが出来てきているかな、と思いました。託児を希望される方がいなかったということで、要望がないのか要望のある方に情報が届かなかったのか、が気になりました。地域のイベントということでチラシの配布が主な告知手段かと思いますが、市の広報誌などへの掲出なども試してみるとよいかもしれません。 ●毎回異なる作品を用意され、参加者が楽しみながら継続できるよう、丁寧に事業を実施されたことが伝わってきました。今後も無理なく集える場として大切に育てていただければと思います。

NO	事業名	団 体 名	事業担当課	評価コメント
6	【協働事業】 みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム	みどりと花の課	●「食べられる景観」をつくる行為が、いろいろな人たちを引き寄せたり、巻き込んだりして地域のコネクターハブ(つながり×結節)に成長してきたことを嬉しく思います。今回注目するのは、情報発信です。いろいろな機会を捉えて本事業の「見える化」「伝わる化」に努めているのは、今後の事業実施に欠かせないと思います。担当課においては、この事業が全国的に注目を浴びる松戸モデルに成長する後押しを期待いたします。併せて、この事業を梃に「市民のみどり力」が市内各地で喚起する取組も期待します。 ●食べられる景観づくり活動がこの数年の間に横展開できるまでに育ってきたことに感謝します。この活動の大きな目的は、まちのプランター活動が紡ぐ豊かなコミュニティづくりにあると思います。今後は、市内外への普及、展開を期待いたします。 ●「松戸市との連携がしっかりできている」という印象を持った。担当課と団体の得意なこと、苦手なことを上手に補いあっているように感じる。継続して行っている活動の良さが出ていると思われる。継続して頑張してほしい。 ●担当課が協働事業の活動を通じて新たな視点を獲得したというのは、素晴らしいと思います。また、参加者提案のワークショップを開催したことも、参加者の自主性を尊重する姿勢の表れだと思います。 ●今までの知識や経験が活かされ、無理なく継続可能な形が素晴らしいと思います。 ●活動がすでに地域でのノウハウがしっかりと地盤となっていて、協働事業として松戸市が他市の誇れる事業だと感じました。運営側の負担については、ほぼ固定日程にしていることや内容も同じような作業が多いので負担ではないとのことで、まさにそれこそ地域で続けて行くためのモデルケースとしてありがたいと感じました。実際に地域でお庭の活動をしよう！と声掛けをしても、はじめは人が集まっても継続していくことが難しいと感じます。そんな時にこちらの活動があれば、全体の流れや市の支援などをどう受けたら良いのか、またそれぞれの活動ゴールとして松戸市のイベントなどに合わせて取り組み紹介なども出来ると、市内の活動団体同士の交流も叶うのでは？とワクワクしました。担当課にも他市からのお問合せが入っているとのことで、ぜひ市の良い事例としてアピールして欲しいと思いました。 ●ひとつの取り組みとして軌道に乗せるところから、それを広めていくフェーズに入ってきて、着実に成長している取り組みで素晴らしいです。この取り組みを通して作られるコミュニティにもとても価値があると感じます。継続して実施されるとのことで、松戸市の取り組みとして成長させていってください。 ●プランターが、単なる緑化にとどまらず、収穫、食、クラフト、会話、見守りなど、さまざまな関わりを生み出していることに、この協働事業の魅力を感じます。今後は、他地域にも展開できるよう、仕組みやノウハウの整理が進むことを楽しみにしています。

NO	事業名	団 体 名	事業担当課	評価コメント
7	【スタート助成】 矢切地区における子どもの遊び場創設事業	あそびパーク やきりの		●お菓子提供の見直し、農業体験の実施見直しに表れているように、事業途中で気づいた問題について検討し、改善する取組は、PDCAマネジメントサイクルの実践で、事業の安定と成長に欠かせないものです。また、プレーパークや農業体験で事故が起こるリスクの備えは、活動に対する人々の安心と信頼となります。逆にリスク管理を後回しにすれば、最終目標達成の障壁となる恐れがあります。リスクの備えとして、例えば社会福祉協議会の日帰り行事保険は、熱中症も補償対象で安価に加入できるので、是非とも加入してください。 ●プレーパーク活動や農業体験活動は今の子どもたちに不足している外での遊びを提供する重要な活動です。さらに多くの人たちに情報提供することをおすすめします。弁当とケガは自分持ちといっても、保険加入は必要ですね。参加者にとっても安心材料になります。 ●子ども会が解散した地域における、新たな形としての挑戦として良い活動であったと思う。プレイリーダーや保険についても、一歩進んできていることで、良い方向に進んでいると感じた。 ●プレーパークや農業体験の理念と実践は松戸の子どもたちのために重要な活動だと期待しています。活動を継続する中で、社会的責任を果たすための枠組みも整えられることと思います。 ●多くの方々が活動にかかわる機会が増えていくことを期待します。 ●運営の皆さんも子育て中とのことで、プレーパークの実施・農業体験・映画上映など1年間の計画＆実施だけでも大変だったのでは？と思います。プレーパークの実施はやはりお天気に影響されることもあると思いますが、参加者はリピーターではなく初めて参加の方が多いとのことで、これからの情報発信（まだまだ”プレーパーク”という言葉やプレーワーカーの存在を知らない方が多いかも？）次第ではないかと期待します。せっかくの活動なので、ぜひ矢切地区の皆さんの理解を深めたり、情報拡散していけたらと思います。今年度も引き続き頑張ってください。きっと、活動が軌道に乗ると賛同者や協力者が増えて来るのでは？と期待しています。 ●プレイパークは参加者数が目標に届かなかったのは残念でしたが、継続していくことで認知されていくと思いますので、ぜひこれからも開催していただきたいと思います。インスタグラムを拝見しましたが、どんな遊びができるのかの発信がもっとあると、参加を検討している方が参加しやすくなるかと思いました。 ●体験格差にも配慮し、参加費を徴収しない方法に変更されるなど、子どもにとってよりよい場のあり方をよく考えながら活動を進められてきたことが伝わってきました。応援団を増やし、今後の活動を広げていくことを期待しています。

NO	事業名	団 体 名	事業担当課	評価コメント
8	【スタート助成】 みんなで創る未来の 都市農業 コミュニ ティ農園事業	まつど市民の会		●今回の最大の収穫は、やりたいことを実施する人員確保の裏付けを取る点だと思います。併せて、やりたいことからやれることを決めて、そこに活動資源を集中させる大切さも経験したと思います。その経験を介して体制の立て直しの糸口を掴めたのは、団体の発展につながると期待します。 ●耕作放棄地の問題は今後の地域にとっても大きな課題です。まずは一步進めたこと、さらに重要性を情報提供して、多くの市民に知っていただくこと、広報に力を注いでいただきたいと思います。 ●非常に魅力的な活動であるが、広報がうまくいっていない部分があったように感じた。しかし、周知について、改善の方向が見えているようで良かった。SNSでの広報も大切だが、一番は地域の口コミであるように思う。口コミがうまく機能するような仕組みづくりができれば、さらに関心を持つ人が増えていくように思う。 ●協働の手法を検討することが団体の活動目的に掲げられているが、この点についての取り組みが見えにくく、残念です。しかし、ホームページを開設後、構成員が一気に増えた由、今後の活動に期待します。 ●関心ある方が増えてきたということでしたので今後の活動に期待します。 ●4カ所の農園の運営をするには従事者が2名とのことでなかなか大変だったのでは？と思いました。報告書類の中で”事業に関わる団体人数の確保が想定以上に難しく…とあり苦戦した様子が伺えました。ですが現在は50名ほどの反響があったとのことでしたので、これからの活動に期待します。ただ、団体の活動の発端が「松戸で良かった」という人を増やし…とあったので、外部(全国的に向けて)広がっているというところが少し気になりました。やはり、松戸市の協働事業としては松戸市の皆さんへまず広めていけたら良いのかな、と感じました。令和8年度は助成継続はされないとのことですが、今後もぜひ集まった皆さんと農業を通じたコミュニティ活動を続けて欲しいと思いました。市内で活動している同じような農業活動の団体の皆さんと連携したりすることで、上映会や料理教室なども実施出来るのでは？と思います。ぜひ、つながって欲しいと感じました。 ●告知活動に苦労されたとのことで、当初の目標まではなかなか届かなかった点は残念でした。XやFacebook等で松戸市内に限らずより広く発信していくとのことでしたが、合わせて市の広報誌などでの告知も実施されるとよいかと思いました。広報誌やSNSでも松戸市の公式アカウントからの発信は松戸市内の方はかなりの方たちが見ていますので、そういった方たちにもぜひ情報を届けてあげてください。 ●人手の確保など体制づくりの難しさが見えたとのことですが、それも実際に取り組んだからこそ得られた大切な学びだと思います。今回得られた経験を活かし、無理のない形で活動を継続いただければと思います。

NO	事業名	団 体 名	事業担当課	評価コメント
9	【スタート助成】 松戸の歴史的文化遺産の復元・活用研究事業	松戸の地理・歴史探訪調査会		●少ない史料をもとに鮮魚街道と子和清水の価値を裏付ける調査研究の努力に敬意を表します。また、調査研究の工程に市民参加の場を設ける努力にも敬意を表します。とくに市民が参加する、市民を巻き込む場を設けることは、この活動資金に市民活動助成金が入っている点からして重要な点となります。併せて、調査研究の成果を協働のまちづくりに活かす道筋を用意することも大切です。 ●貴団体が取り組んでいる調査、研究の活動は、息の長い継続性が求められる分野だと思います。また、調査結果がまとまるということはまだ先のこともかもしれませんが、途中でもこの活動を地域に伝えることが大切であると思います。なぜなら、市民活動は他の多くの人に情報を提供し参加を促し続けることがキモだからです。皆様の活動は、単なる趣味の活動ではなく、公益性のある大事な活動だと思います。 ●根拠としての資料がなかなか出てこないことはあるが、今後も行政機関との連携を模索してほしいと思う。歴史研究は、すぐに成果が出るものではないが、出た成果については、少しずつでも他団体等とのコラボレーションを通じて周知していったほしい。 ●市民が自分の住む地域の歴史的、地理的背景を知することは、自然災害が多発する昨今、重要性が高まっていると思います。その点では、調査の比重が大半で、市民への周知活動が見えにくいのが残念です。参加人数の明記が必要かと思います。 ●広く市民の皆様にお伝えできる機会があるとういと思います。 ●市内には歴史調査をテーマにしている団体がたくさんいることに松戸市への愛情を感じました。皆様からは特に「鮮魚街道とその街道筋にあった子和清水を再考し、歴史的文化財源として価値を見出して復元したい」という強い思いを感じました。報告を伺っていて団体の皆さんが期待しているのは松戸市としての情報提供や連携協力と感じました。とは言え、地域で歴史調査をしている方からも「松戸市には情報が少ない」という声もあります。可能であれば大学との連携や学生サークル等と歴史探求活動としての協力などをして外部連携をはいかがでしょうか？今現在の調査結果のまとめだけでもすでに価値があると思うので、イベントなどで公開して行くことで地域だけでなく市外からの協働が生まれそうな気がしました。深める活動もちろん大切ですが、合わせて横に広げる活動をしていただくことでより多世代に松戸の歴史の面白さを伝えて頂けたらと思います。 ●調査に軸足が寄りすぎて発信までに至らなかったようですが、素晴らしい調査内容をぜひ広く知っていただく機会を作ってもらいたいと思います。調査が完了しないと発信できないと考えられているように感じたのですが、現在の調査状況、何がわかっていて何がわかっていないのか、という事も含めて受け手には興味深い内容になると思いますので、ぜひそういったライブ感のある発信をお願いします。 ●地域の歴史を調査する取り組みは、次世代へ伝えるうえで意義があると感じました。一方で、調査成果を市民に見える形で広く伝えることは大切だと思いますので、活動の周知・広報にも力を入れていただくことを期待します。